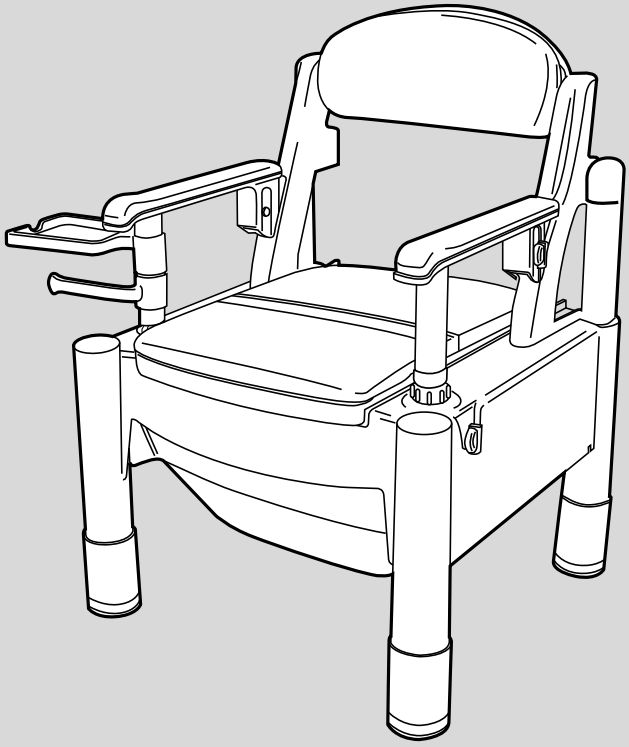
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

ポータブルトイレ
KX-SDR
KX-SDR ソフト便座
取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびはポータブルトイレKX-SDRをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1・2
各部のなまえ	3
部材・付属品・仕様	4
特長	5
使いかた	6~10
お手入れの方法	11

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 注意

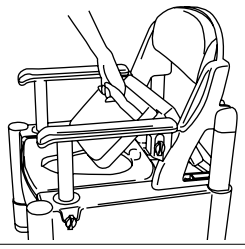
改造や分解をしないこと
本体が正常にはたらかず、けがの原因になります。

背もたれやひじ掛けがしっかり固定されているか確認すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

補高用脚が4本とも本体が安定する高さに設定されているか確認すること
補高用脚を固定ナットでしっかり止めているか確認すること
転倒し、けがの原因になります。

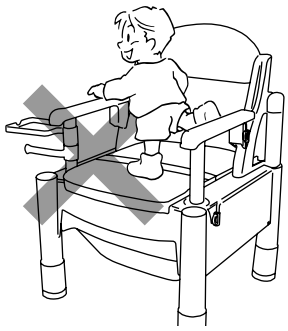
使用者が用便等の際、自分自身の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が付き添うこと

折れ座面の開閉は、必ず持ち手を持って行うこと
別の部分を持って行うと指をはさむ原因になります。



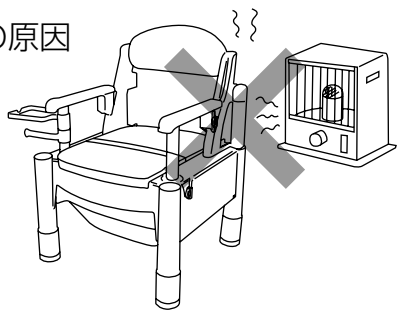
必ず平たんな場所で使うこと

座面やひじ掛けの上に立ったりしないこと
転倒し、けがの原因になります。



背もたれを手すりがわりに持たないこと
転倒し、けがの原因になります。

直射日光が当たる場所や火気に近づけないこと
火災や変形の原因になります。



子供・幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと

安全上のご注意

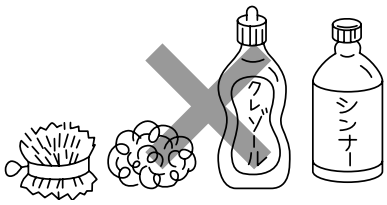
⚠ 注意

ペーパートレーやペーパーホルダーはつかまったり、体をささえるために使用しないこと
脱落して、転倒、けがの原因になります。

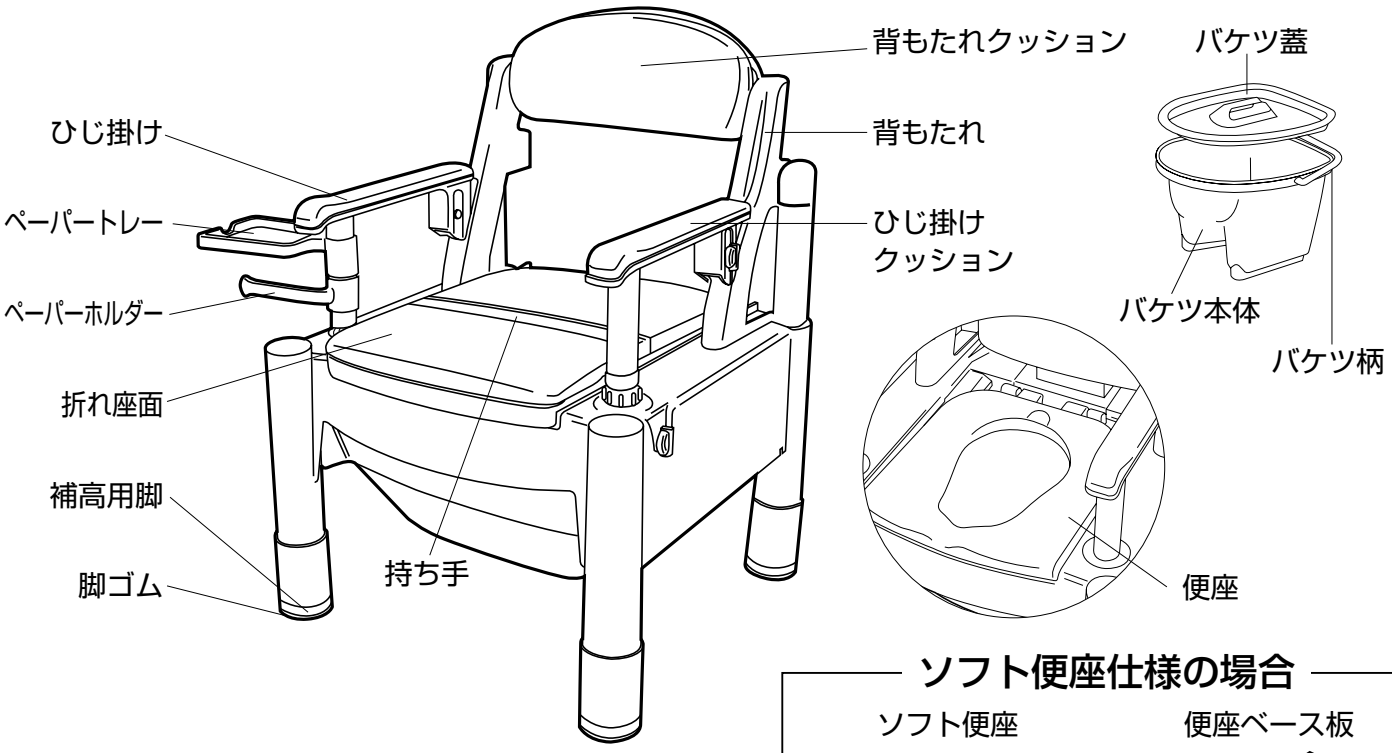
体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損する恐れがあります。

バケツ内に水や汚物を入れたまま、本体を移動させないこと
内容物がこぼれ、本体や服、床などを汚す原因になります。

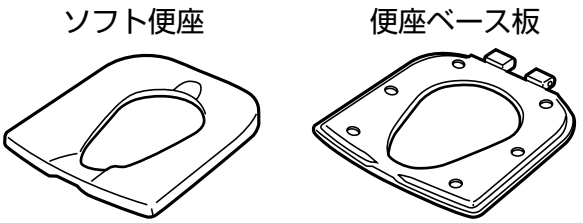
お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



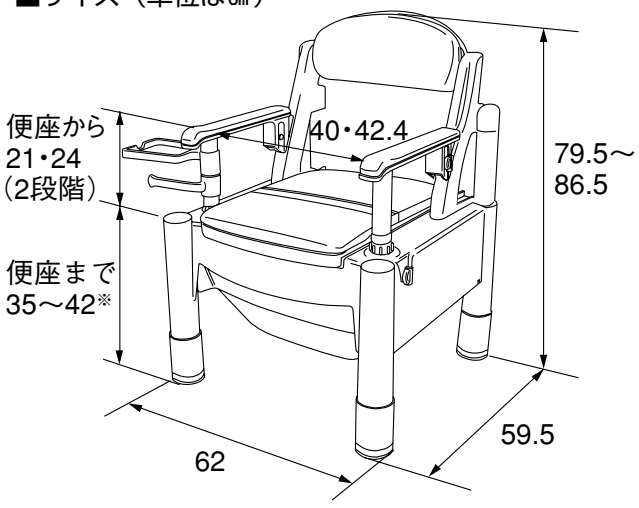
各部のなまえ



ソフト便座仕様の場合



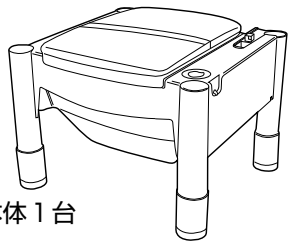
■サイズ（単位はcm）



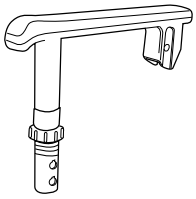
※キャスター付タイプの場合は、便座までの
高さ37～42cm。座面高さは+4cm。

部材・付属品

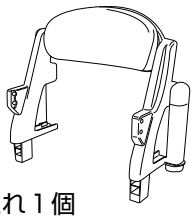
■部材



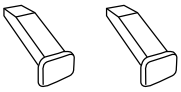
●本体１台



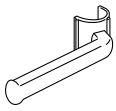
●ひじ掛け（左・右）



●背もたれ１個

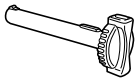


●背もたれ固定ピン2個



●ペーパーホルダー１個

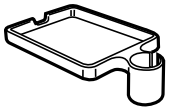
（短・後用）2本



（長・前用）2本

●ひじ掛け固定ピン

●ひじ掛け穴キャップ１個



●ペーパートレー1個

付属品

●K型便座カバー 2枚
（ソフト便座仕様 暖房便座仕様 の場合は無し）

●防臭消耗品

■仕様

品　　名	ポータブルトイレKX-SDR	
材　　質	本体・便座・バケツ・ ひじ掛け・背もたれ・ 座面裏カバー・ ペーパーホルダー・ ペーパートレー・補高用脚	ポリプロピレン
	ひじ掛けクッション・脚ゴム	エラストマー
	座面・背もたれクッション	ウレタンフォーム（クッション材） 合成皮革（張り材）
	ソフト便座仕様の場合	ソフト便座：EVA（抗菌加工） 便座ベース板：ポリプロピレン
寸　　法	幅62×奥行59.5×高さ79.5～86.5㎝ （便座までの高さ：35～42㎝）	
重　　量	約10.5㎏	
バケツ容量	10ℓ	

廃棄上のご注意　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

特長

●便座までの高さを症状・体形に合わせて35～42cmに調節可能。（無段階調節）
●本体側面にも足を入れるスペースがあり、側方介助する際に腰に負担がかかりにくい親切設計。
●ひじ掛けは、高さを 2 段階に調節可能。（便座から21cm、24cm）
●ひじ掛け間の幅を 2 段階から選択可能。（内寸40cm、42.4cm）
　上体の不安定な方や、本体の安定性を増したい場合は、ひじ掛け内寸を狭くして使用してください。
●ひじ掛けは側面からのロックピンと固定ナットで固定されており、とても簡単に取り外せ、横からの移乗も可能。
●椅子として使えるソフト素材で軽量な折れ座面を採用。
　開閉時も静かなので周囲に気がねなく使用でき、握力の弱い方も楽々開閉できます。
　背もたれを常に使用でき、長時間でも無理のない排便姿勢がとれます。
●背もたれクッションは、長時間座っても疲れにくいソフト素材を使用。
●便座は、座ると自然に足が開く三次元形状で、前方は大腿部が痛くないようゆったりと座れる広さを確保します。ゆっくり閉まるオイルダンパーを採用。（抗菌加工）
●ペーパートレーには、濡れティッシュや重ね置きしたトイレットペーパーを置くと便利。
●本体は後方にも倒れにくい設計。
●背もたれにハンドサポートがついているので、ひじ掛けを外した場合でも移乗が楽。
●バケツの下に汚水受けを設けた二重構造なので、飛散した小水を便器外に漏らさないクリーン構造。
●ペーパーホルダーはひじ掛けの支柱にお好みの角度で取りつけ可能。

〈ソフト便座仕様の場合〉
●ソフト便座には、着座時の痛みや冷たさを緩和する素材を使用（抗菌加工）。
●汚れた時は、分解して洗えます。

使いかた

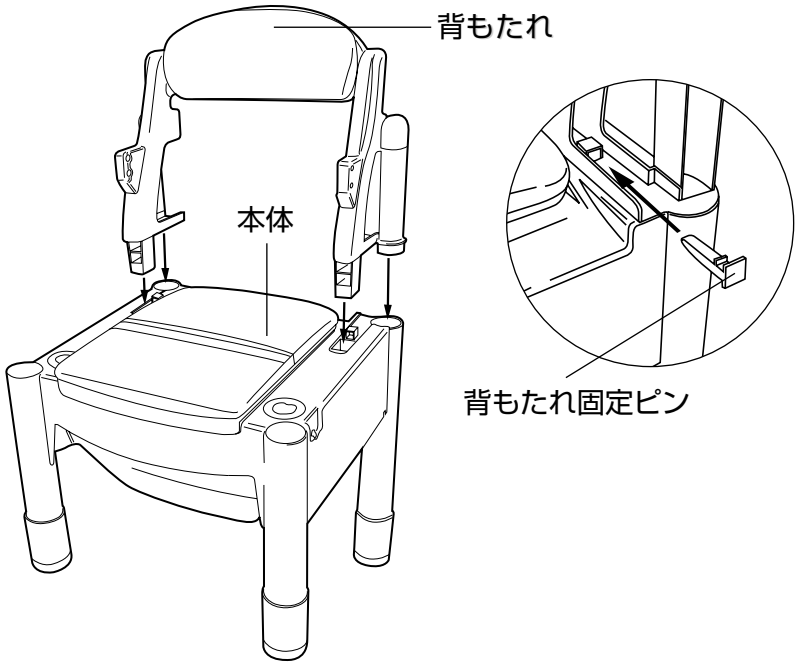
組み立てかた

1 背もたれを固定する。

①背もたれクッションの付いた方を前方として、本体取り付け穴にはめ込みます。
②背もたれは、後ろ側から、左右両支柱のつけ根にある、固定ピンわくに背もたれ固定ピンを差し込んで固定してください。
③背もたれが、確実に固定されたか、確認してください。
④背もたれを取り外す場合は、① ②を逆の手順で行ってください。

⚠ 注意

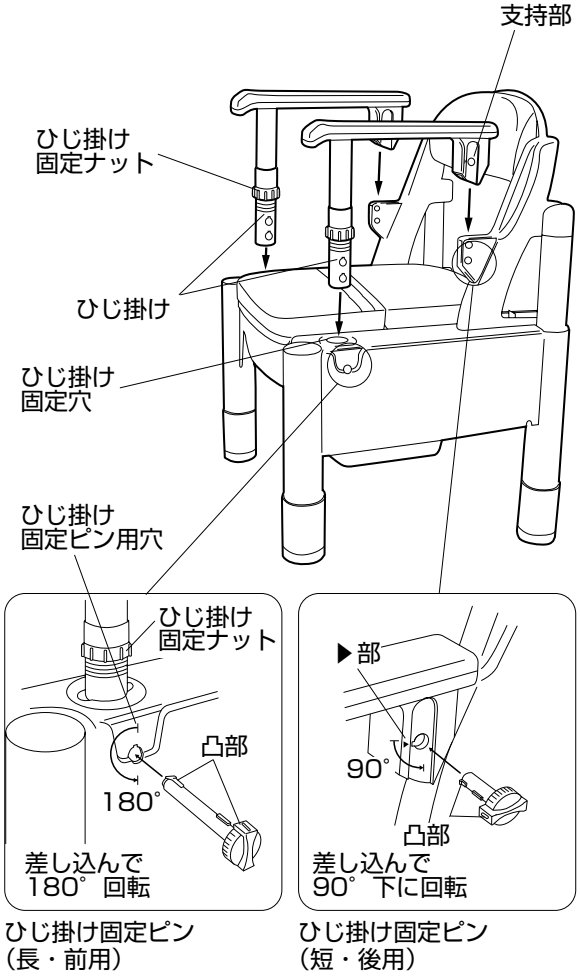
背もたれは、必ず背もたれ固定ピンで固定すること
背もたれが外れ、けがの原因になります。



使いかた

2 ひじ掛けを固定する。

①ひじ掛け支柱を本体のひじ掛け固定穴に差し込み、もう一方の支持部を、背もたれの支持部にはめ込みます。



ひじ掛け固定ピン
（長・前用）

ひじ掛け固定ピン
（短・後用）

特長 1 ひじ掛けの高さは2段階、3cm間隔で調節できます。

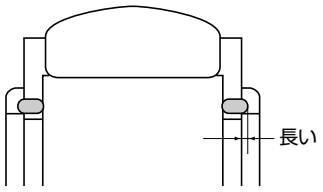
②ひじ掛け固定穴の横にある、ひじ掛け固定ピン用穴と、ひじ掛け支柱の穴（2ケ所　3cm間隔）を上か下どちらかの穴と合わせます。

③ひじ掛け固定ピン（長・前用）の凸部を上にして差し込み、180°回転して固定します。

④ひじ掛けのもう一方の支持部も、ひじ掛け固定ピン（短・後用）の凸部をひじ掛けの▶印に合わせて差し込み、90°下向きに回転して固定します。

⑤最後に、ひじ掛け固定ナットを手で動かなくなるまで右に回して、ひじ掛けのガタツキがないようにしてください。

特長 2 ひじ掛けの内寸は、40cmと42.4cmの2段階調節です。図の長い方を外側にすると内寸は42.4cm。左右のひじ掛けを入れ替えて、短い方を外側にすると、40cmとなります。



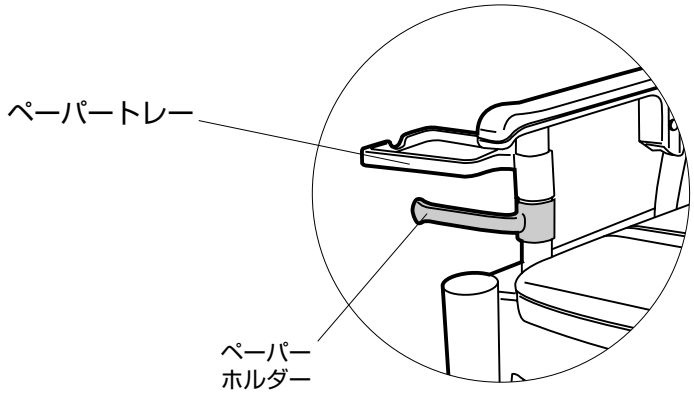
使いかた

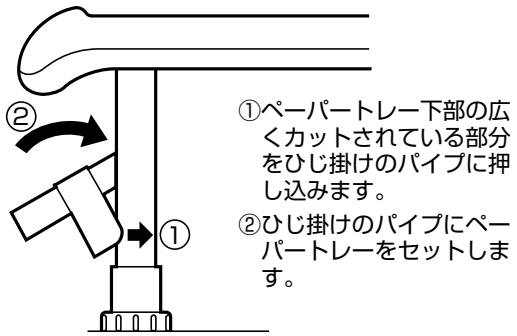
3 ペーパーホルダー・ペーパートレーを取り付ける。

①ペーパーホルダー及びペーパートレーは、ひじ掛け支柱にお好みの向きと高さで取り付けてください。

注意

※ペーパーホルダーにはトイレットペーパー以外のものは、掛けないこと
ペーパーホルダー及びペーパートレーは、折れ座面や、便座の開閉に支障のない位置で使うこと
ペーパーホルダー、ペーパートレーにつかまったり、体をささえるために使用しないこと



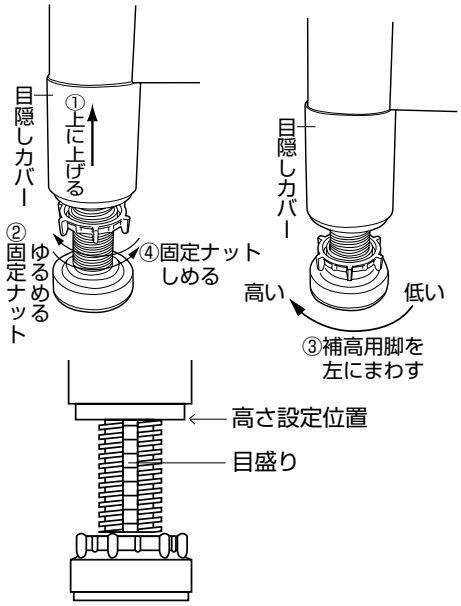


①ペーパートレー下部の広くカットされている部分をひじ掛けのパイプに押し込みます。
②ひじ掛けのパイプにペーパートレーをセットします。

4 高さの調節をする

特長3 **補高用脚は、便座までの高さを35～42cmに無段階で調節できます。**

必要に応じて 4 本の補高用脚をそれぞれ左に回して高さを調節してください。
①まず補高脚目隠しカバーを上にスライドさせます。
②固定ナットをゆるめます。
③3本の補高用脚を左に回しながら目盛りで調節し、残りの１本はトイレを使用する場所で安定感を確認しながら調節します。
④補高用脚は固定ナットでしっかり止めてください。（便座までの高さ：35～42cm）



調節のこつ

3 本の補高用脚を目盛りで調節し、最後の１本を、トイレを使用する場所で安定する高さに調節するとガタツキなく設置できます。

注意

※補高用脚は、本体が安定する高さに調節し、固定ナットをしっかり閉めて使用すること
本体が不安定な状態で使用すると、転倒し、けがの原因になります。

使いかた

前準備

●付属の便座カバーをつける
（ソフト便座仕様・暖房便座仕様の場合は無し）
便座は特殊形状をしているので、一部を除いて市販の便座カバーは使用できません。専用便座カバーを使用してください。
取りつけかたは、付属している便座カバーの取扱説明書を参照してください。
（替え用便座カバーをお求めの際は、製品を購入された販売店でお買い求めください。）

●防臭効果を高めるために
バケツに水を約2ℓ（バケツ内側の2と表示してある線まで）入れ、付属の防臭消耗品を入れてください。
ポータブルトイレ用防臭剤や防臭液、防臭錠、消臭剤フォームタイプもご使用いただけます。（別売品）

※便器に座る前に用便されてしまう場合もあります。
あらかじめポータブルトイレ用消臭・防水シート（別売品）を敷いておくと、よりお部屋の清潔さが保たれ安心です。

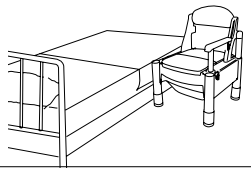
使用方法

折れ座面を開け、便座を上げバケツの蓋を外して使用します。
※バケツ内へは、ティッシュペーパーなどトイレットペーパー以外のものは入れないこと。
トイレで処理する際、詰まる原因になります。

使用後の処理方法

●汚物の処理について
ポータブルトイレからバケツを取りだして、汚物をトイレに流してください。

ベッド等から移乗する場合。
ベッド側のひじ掛けを外し、その位置にひじ掛け穴キャップを取りつけてお使いください。尚、移乗後、上体の安定を保ちたい場合は、ひじ掛け穴キャップを外し組立て方法の2にしたがい、ひじ掛けを固定してください。
※ひじ掛けは、どちらか片方を必ず取り付けてお使いください。



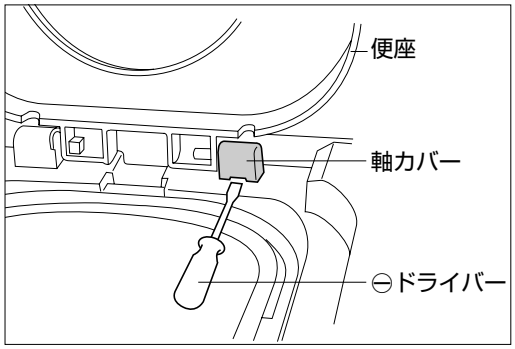
使いかた

便座の分解・組立て方法

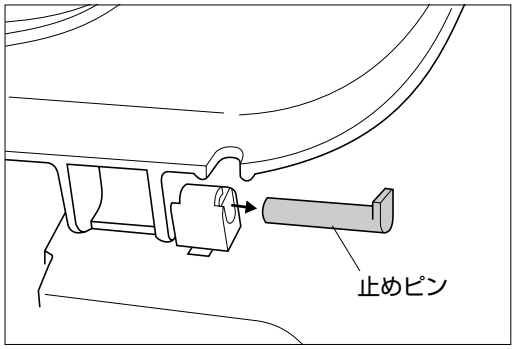
●お手入れや便座の取りかえを行う時

1 折れ座面を開け、便座を上げる

2 軸カバーの溝に⊖ドライバー等を入れ、上に引き上げる

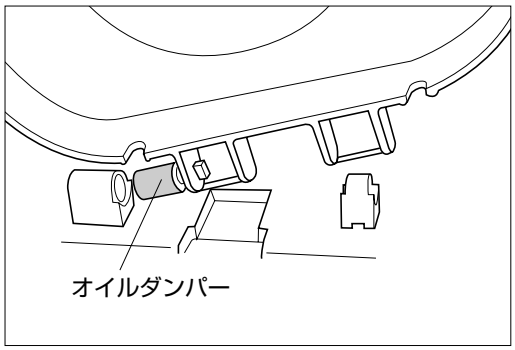


3 止めピンをぬき、便座を軸受けから外す



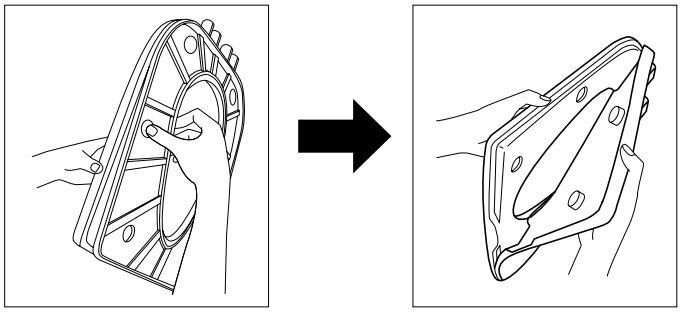
4 最後に受け板の軸穴からオイルダンパーをぬき、便座を分解する

（オイルダンパーが軸受に残った時は、4の作業はいりません）
※組立てる場合は、4から逆の手順で行ってください。



ソフト便座仕様はソフト便座と便座ベース板に分解できます。

凸部を押して分解してください。



注意

ソフト便座と便座ベース板に分解する際、無理に引っぱらないこと
強く引っぱると、ソフト便座が破損します。

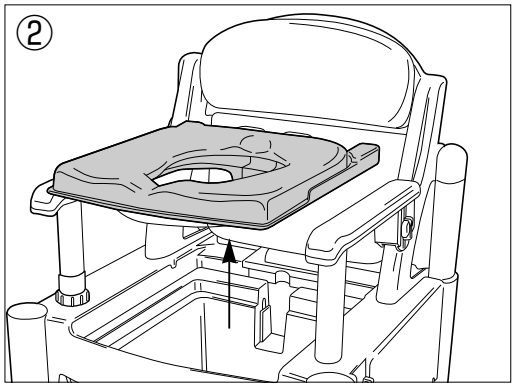
お手入れの方法

1 普段のお手入れは

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。

2 少しひどい汚れには

便座・受け板・座面は、本体から取り外すことができます。
汚れがひどくなった時は、下記の手順に従い取り外してください。

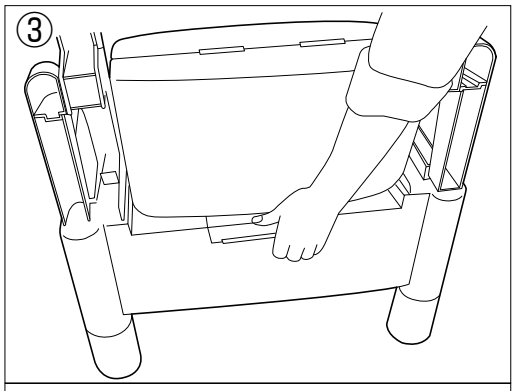


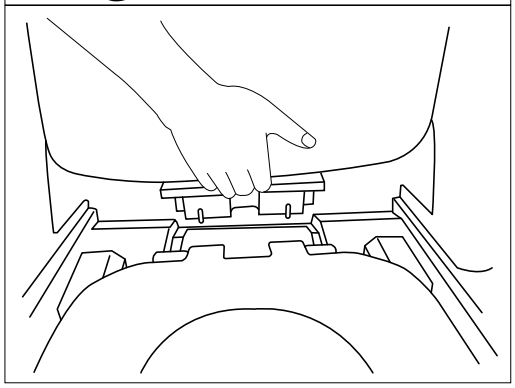
便座・受け板・座面の取り外しかた

①本体からバケツを取り出します。

②便座・受け板を取り外します。

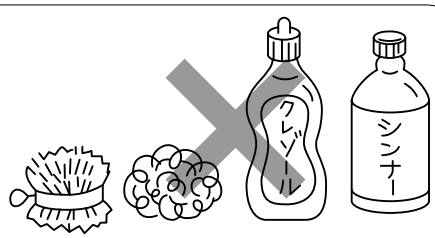
③折れ座面を軸受けごと取り外します。
（便座・受け板を取り外さなくても座面を外すことができます）





注意

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。 10.11

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL(03)5420-1556
FAX(03)5420-7750

東京支店 ☎(03)5420-1562
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5477
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

910555-1